

(単元) 衣生活の科学と文化

(本時のねらい)

被服管理などについて科学的に理解させ、衣生活の分野に関心をもたせるとともに、安全と環境に配慮した衣生活を主体的に営むために必要な知識を身につける。

(ICT 活用方法)

従来は手作りの掲示物 (A3 版) を用いて解説していたが、ICT を活用することにより画面に大きく映し出すことができ、生徒の興味・関心を高めることができた。また、画面への書き込み等を多用してわかりやすく説明することができ、生徒が学習する課題を把握することができたと考える。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法	備考
導入 5 分	○汚れを取る方法とその仕組みについて知る	○4 種類の洗濯方法とその特徴を理解させる	○図表を大きく拡大提示することで、これから学習する課題を把握させる	
展開 40 分	○汚れの種類について考える ○汚れに応じた洗濯法を知る ○界面活性剤の構造とその働きについて知る ○洗剤補助剤の意味を考える ○石けんと合成洗剤の性質の違いを理解する ○水質汚染度を比較し、環境に配慮してどちらを選ぶかを考え、発表する	○汚れの種類に応じた洗濯法を理解させる ○汚れの落ちる仕組みを理解させる ○実物を提示し、日常生活で使われている洗剤の有効性と危険性について理解させる ○日常生活で使われている物質が環境や健康に及ぼす影響について話し合わせる	○図表を大きく映すことで学習課題を焦点化する ○界面活性剤の動きをアニメーションで表示することでより興味・関心を高める ○提示した資料を指し示しながら発問や説明をすることで、指示や説明をよりわかりやすくする ○映像を見せることで課題を明確につかませ、思考を深めたり広げたりする	

まと め 5分	○持続可能な社会 をめざす取り組 みについて考え る	○環境問題などの 社会的な諸課題に 対して自分達はどう すべきかを考え させる		
---------------	-------------------------------------	---	--	--

(授業の様子)



板書とICT

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

ICT を活用することで、生徒の学習課題への興味関心を高めることができる。ただ効果的であったかを振り返り、提示するタイミングや見せ方を工夫することが必要であると考えられる。